

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																				
専門学校 岡山情報ビジネス学院	昭和61年7月26日	学院長 三村 光	〒700-0024 岡山県岡山市北区駅元町1-4 (電話) 086-224-2336																				
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																				
学校法人 三友学園	昭和61年7月26日	理事長 野津 基弘	〒700-0024 岡山県岡山市北区駅元町1-4 (電話) 086-224-2336																				
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士																			
工業	工業専門課程	CGデザイン学科	平成21年2月27日 文部科学省告示	—																			
学科の目的	デザインの基礎、写真、動画編集などを中心に、クリエイティブ業界で活躍できるさまざまなスキルを身につけ、企業等の連携によって最新の業界動向を取り入れた知識を修得する。クライアントのニーズを反映できる企画力・提案力も身につけ、実践的な人材の育成を目的とする。																						
認定年月日	平成28年2月19日																						
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																
2年	昼間	1,726	592	165	1,179	0	0																
1936時間																							
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																		
40人	73人	0人	2人	4人	6人																		
学期制度	■前期:4月1日～8月31日 ■後期:9月1日～翌年3月31日			成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 成績評価はS、A、B、C、Dの4段階 科目終了時に試験、レポート等で評価																		
長期休み	■夏季休業日:8月9日～8月28日 ■冬季休業日:12月19日～翌年1月12日 ■春季休業日:2月6日～3月13日			卒業・進級条件	①必修の全科目及び選択必修で選択した科目の成績がC評価以上 ②すべての授業の出席率90%以上 ③サーティファイ Photoshop検定スタンダード、 サーティファイ Illustrator検定スタンダード、 サーティファイ 色彩検定3級スタンダードのうち1つに合格 上記条件を全て満たした学生に対して卒業を認定する																		
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 電話連絡、保護者面談、家庭訪問等			課外活動	■課外活動の種類 新入生歓迎会、スポーツ大会、学園祭、東京研修 ■サークル活動: 有																		
就職等の状況※2	■主な就職先、業界等(令和3年度卒業生) (株)アイディーエイ、(株)プランニングKOHWA、(株)アスコン、アッシモフォトオフィス、(株)アドボックスフォトグラフィ、(株)アルファ、(株)イタミアート、(株)OHKエンタープライズ、(株)オフィスブルーフ、協同精版印刷(株)、(株)協同プレス、クラブ(株)、研精堂印刷(株)、(株)岡文館印刷所、(株)コーセイカン、山陽印刷(株)、(株)シェルパ、(株)セイセイ堂デザイン、ジャパングリイット(株)、(株)ジャム・デザイン、シンコー印刷(株)、(株)チクバ装飾社、(株)中国シール印刷、(株)ナイガイ、(株)内外プロセス、(有)ニッティ・グリッティ、(株)ブックス、(株)マルシン広告社、(株)みつ印刷、(株)ユナイテッドラウンジ、ワシウ印刷(株) 他 ■就職指導内容 担任教師とキャリアサポート室が連携し学生の進路選択のサポートを行う。併せて就職対策講座により教養・面接対策等を行う。 ■卒業生数: 29人 ■就職希望者数: 27人 ■就職者数: 27人 ■就職率: 100.0% ■卒業生に占める就職者の割合: 93.1% ■その他 ・進学者数: 0人 (令和3年度卒業生に関する 令和4年6月1日 時点の情報)			主な学修成果(資格・検定等)※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和3年度卒業生に関する令和4年5月1日時点の情報) <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種別</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Illustratorクリエイター能力認定試験エキスパート</td> <td>③</td> <td>29人</td> <td>23人</td> </tr> <tr> <td>Photoshopクリエイター能力認定試験エキスパート</td> <td>③</td> <td>29人</td> <td>20人</td> </tr> <tr> <td>文部科学省後援色彩検定 2級</td> <td>③</td> <td>29人</td> <td>13人</td> </tr> </tbody> </table>			資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	Illustratorクリエイター能力認定試験エキスパート	③	29人	23人	Photoshopクリエイター能力認定試験エキスパート	③	29人	20人	文部科学省後援色彩検定 2級	③	29人	13人
資格・検定名	種別	受験者数	合格者数																				
Illustratorクリエイター能力認定試験エキスパート	③	29人	23人																				
Photoshopクリエイター能力認定試験エキスパート	③	29人	20人																				
文部科学省後援色彩検定 2級	③	29人	13人																				
中途退学の現状	■中途退学者 1名 ■中退率 1.5% 令和3年4月1日時点において、在学者65名(令和3年4月1日入学者を含む) 令和4年3月31日時点において、在学者64名(令和4年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 家庭の事情のため ■中退防止・中退者支援のための取組 定期ガイダンスの実施、クラス行事・学校行事への参加、家庭との連携等																						
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有・無 ・OIC特別奨学金制度(本校入学者を対象に実施) ・後期授業料免除制度(本校入学後、所定の条件を満たす者を対象に実施) ■専門実践教育訓練給付: 給付対象・非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載																						
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 有・無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL) https://www.oic-ok.ac.jp/assets/document/about/2019.pdf																						
当該学科のホームページURL	URL https://oic-ok.ac.jp/course/cg/																						

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

デザイン業界・広告業界で実戦的なグラフィックデザイナーやDTPオペレーターとして必要とされるコミュニケーション能力と、それに必要な知識や技術を兼ね備えた人材の育成を目標とする。そのために、グラフィックデザイン分野やデザイン広告業界で専門分野に知見のある方々に教育課程編成委員を依頼し、デザイン分野においてその実情と求められるスキル等について意見や提案をいただき、カリキュラムの追加や内容更新、教材作成・授業計画等に反映させる。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

デザイン業界・広告業界においてグラフィックデザイナーとして即戦力となれる人材を育成するために、デザイン力向上だけではなく顧客のニーズを具体的に形にするための実践的な授業内容の改善・工夫のために、企画・デザイン、印刷、Web制作分野での技術力のある企業を選定し、実践的実習を実施し学生作品について評価と改善指導を実施していただき教育課程の改善を行うことを目的とする。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和4年6月1日現在

名前	所属	任期	種別
佐藤 豪人	公益社団法人 日本グラフィックデザイン協会 岡山地区代表幹事	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	①
友野 宏史	友野印刷株式会社 代表取締役	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	③
石崎 公生	株式会社アドボックス フォトグラフィ 代表取締役	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	③
結城 和子	専門学校 岡山情報ビジネス学院 教務課長補佐	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	
中上 篤	専門学校 岡山情報ビジネス学院 CGデザイン学科 学科長	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

(当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合には、種別の欄は空欄で構いません。)

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(例年の開催時期は、9月、1月)

(開催日時(実績))

第1回 令和3年9月17日 16:00～17:00

第2回 令和4年1月28日 16:00～17:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

<委員会意見より現在実施中項目>

実習課題の相対的評価として、全国の大学・専門学校が参加するコンテストへの参加をしてどうか。
⇒岡山県内のコンテストや公募への参加はしているが、全国のコンテストへ1年生・2年生とも参加する。

<委員会意見より具体的内容検討中項目>

JAGDA(公益財団法人 日本グラフィックデザイナー協会)主催の世界学生ポスターアワードへの参加(2年生)
一般財団法人 職業教育・キャリア教育財団主催 Tシャツデザインコンテストへの参加(1年生)

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

研究活動の成果を教育活動に積極的に活用し、学生の研究活動への参加を奨励し、地域の企業や自治体等と協力し、地域が抱える課題の解決及び地域社会の発展を目指した研究活動を推奨する。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

一般企業や公的機関からの依頼をもとに、チーム制作にとりくむ。授業科目の担当教員と連携企業の担当者が事前に授業内容と目的、段階的にスキルアップできる実習課題について打ち合わせを行い、スケジュールを作成する。コンセプト、制作、パワーポイントを使った発表の準備する。クライアントに向けて、プレゼンテーションを実施することで、制作物の特徴やアピールポイントを相手に理解していただく重要性や緊張感を体感する。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
キャリア実習	実社会で、即戦力として活躍できる人材を育成することを目的に、1年次後期に企業で実習を行う。授業を通して学んできたことを、理論と実践の相互関係を理解し、基礎的な知識・技術力を身につける。実習内容は、基本的に受入企業様の指示に従い、担当者の方々の指導のもと、実習を行う。	友野印刷(株)、P・O・Pホールディングス(株)、(株)みつ印刷、(株)内外プロセス、(株)コーセイカン、(株)チクバ装飾社、(株)中原三法堂、協同精版印刷(株)他 全15社

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

教員の資質向上や専門分野の知識向上を目的とし、学内研修・学外研修・自己啓発研修等の年間研修計画を立て、学科教員が受講する。また、研修受講後は、研修報告書の作成と他関係者に対する研修内容の共有を行う。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

・主催: デジタルハリウッド アカデミー

・日程: 令和3年7月20日(水) 16:00~17:00

・参加者: 藤岡 勝利

・研修名: 「ぷよぷよプログラミングでアプリ開発体験」

内容: パズル型ゲーム「ぷよぷよ」を作りながら学ぶプログラミング学習教材「ぷよぷよプログラミング」を使って1時間でアプリ開発の一連の流れを体験する。「Monaca Education」の操作を実践し、授業で取り入れた実例が多く紹介された。

日頃から親しんでいるゲームを教材に学習できる事は大変魅力的であった。2022年度より「情報Ⅰ」の授業が必須化される高校に加え、小学校、中学校、大学などの教育機関でプログラミング教育が行われる。今後の入学生を意識してCGデザイン学科でも新たに取り組みを入れていきたい。

② 指導力の修得・向上のための研修等

・主催: 株式会社 進研アド

・日程: 令和3年6月14日

・参加者: 中上 篤、藤岡 勝利

・研修名: 「基礎カリサーチ」フィードバック教師研修

株式会社 進研アドは、入学者に対して、入学時及び進級時に学びの定着化を図ったり、退学予防に役立てたりすることを目的とした「基礎カリサーチ」を提供していただき、本校と連携をしている。株式会社 進研アドが、「基礎カリサーチ」結果をもとにさまざまな角度から分析した結果を各学科の担任にフィードバックを行い、今後の学生指導に役立てるための研修である。

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

・主催: CG WORLD

・日程: 令和4年7月8日 13:30~18:00

・参加者: 藤岡 勝利

・研修名: CG WORLD デザインビズカンファレンス

内容: 業界をリードする企業の皆様より、新たな取り組みや、技術、考えなどを紹介。デザインビズの今を学び、これからを考えるカンファレンスイベントです。

② 指導力の修得・向上のための研修等

・主催: 株式会社 進研アド

・日程: 令和4年6月下旬~8月予定

・参加者: 中上 篤、藤岡 勝利

・研修名: 「基礎カリサーチ」フィードバック教師研修

株式会社 進研アドは、入学者に対して、入学時及び進級時に学びの定着化を図ったり、退学予防に役立てたりすることを目的とした「基礎カリサーチ」を提供していただき、本校と連携をしている。株式会社 進研アドが、「基礎カリサーチ」結果をもとにさまざまな角度から分析した結果を各学科の担任にフィードバックを行い、今後の学生指導に役立てるための研修である。

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

自己評価の評価結果について、学校関係者として卒業生、保護者とともに企業等による評価を行い、自己評価結果の客観性・透明性を高める。また、本校の教育方針である「即戦力となる人材育成」「ビジネスマンにふさわしい人格形成」「ニーズに対応したカリキュラム」に基づき、地域社会に貢献できる人材の育成に結び付けるために、関係者の理解促進や連携協力による学校運営の改善を図ることを目的とする。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	教育理念・目標
(2) 学校運営	学校運営
(3) 教育活動	教育活動
(4) 学修成果	学修成果
(5) 学生支援	学生支援
(6) 教育環境	教育環境
(7) 学生の受入れ募集	学生の受け入れ募集
(8) 財務	財務
(9) 法令等の遵守	法令等の順守
(10) 社会貢献・地域貢献	社会貢献・地域貢献
(11) 国際交流	現在はありません

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

担任制、卒業生の社内での評価などは、良い評価をいただいたので、今後も退学防止などの課題に取り組んでいく。特に、教師の力量による差が、退学、就職などすべてに影響するため、その差を解消できるように教員研修を継続する。また、非常勤教師の採用も行い、学生サービスの充実を図る。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和4年6月1日現在

名前	所属	任期	種別
守井 照久	税理士法人創明コンサルティング・ブレイン 代表社員	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日 (2年)	企業等 委員
早崎 律貴	スマートスケープ株式会社 VX事業部 開発部 部長	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日 (2年)	卒業生・ 企業等委員
石崎 公生	株式会社アドボックスフォトグラフィ 代表取締役	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日 (2年)	PTA
山本 涉	医療法人和香会 倉敷スイートホスピタル 運営企画室室長	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日 (2年)	企業等 委員
豊田 東	岡山国際ホテル 総支配人	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日 (2年)	企業等 委員
佐藤 新之助	株式会社イトン イートンちどり保育園 取締役	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日 (2年)	企業等 委員
真鍋 洋志	菅公学生服株式会社 総務戦略本部 本部長	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日 (2年)	企業等 委員
山下 秀男	株式会社イケル 代表取締役	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日 (2年)	企業等 委員
北牧 涼輔	株式会社アールアールジェイ 岡山支店 支店長	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日 (2年)	企業等 委員
竹井 一雄	自衛隊香川地方協力本部 東讃地区隊長	令和4年4月1日～ 令和6年3月31日 (2年)	企業等 委員
畑 嘉昭	株式会社 トスコ 常務取締役	令和4年4月1日～ 令和6年3月31日 (2年)	企業等 委員
芳原 慶真	コーセーエンジニアリング株式会社 総務課長	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日 (2年)	企業等 委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ)・広報誌等の刊行物・その他())

URL:<https://www.oic-ok.ac.jp>

公表時期: 令和4年10月1日

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

本校の教育方針やキャリア教育、職業教育をはじめとした教育活動等の状況を提供する。また、それぞれの学科の目標検定や就職実績についても情報を提供し、公的な認可を受けた教育機関として誠実な対応を行い、説明責任を果たす。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	OICの教育方針、心の推進プロジェクト、プライバシーポリシー(個人情報保護法)
(2) 各学科等の教育	目指す業界・職種、目指す資格と資格取得実績、就職実績、カリキュラム
(3) 教職員	教職員数、教員の組織、教員の専門性、教職員の研修
(4) キャリア教育・実践的職業教育	就職支援等への取り組み支援、企業等との連携による取組・キャリア教育への取組
(5) 様々な教育活動・教育環境	教育活動・校舎、施設紹介、学校行事、課外活動
(6) 学生の生活支援	学生支援への取組状況(スクールカウンセラー)
(7) 学生納付金・修学支援	学納金、独自の奨学金制度・学費支援制度
(8) 学校の財務	財務状況
(9) 学校評価	学校評価、学校関係者評価
(10) 国際連携の状況	
(11) その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

ホームページ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他())

URL:<https://www.oic-ok.ac.jp>

授業科目等の概要

(工業専門課程 CGデザイン学科) 令和4年度 1年生															
分類	授業科目名			授業科目概要	配当 年次・学期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
								講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
必修	選択必修	自由選択													
1	○		Illustrator 演習 基礎	デザインに必要な技術やアプリケーション知識を習得する。(Illustrator検定合格を目指す)	1前	43	2	△	○	○		○			
2	○		Photoshop 演習基礎	デザインに必要な技術やアプリケーション知識を習得する。(Photoshop検定合格を目指す)	1前	53	3	△	○	○		○			
3	○		色彩概論 I	デザインの基礎となる色彩について習得し、文部科学省後援色彩検定3級取得を目指す。	1前	45	3	○				○			
4	○		CG基礎	インターネットの必須常識、CG制作における全体像を掴む。(CG検定:CGクリエイター検定)	1前	31	2	○			○	○			
5	○		3D実習基礎	初歩的な3Dソフトを使って、モデリング、ライティング、レンダリングまで基礎を学ぶ。	1前	30	1	△	○	○		○			
6	○		デッサン I	鉛筆・ボールペンで様々な素材や形態のモチーフをデッサンする。	1前	30	1	△	○	○		○			
7	○		デザイン概論	デザインの基礎を学び、規定や仕様を理解したデザインができるようになる。	1前	22	1	○			○	○			
8	○		デザイン実習基礎	商業デザインに関する基礎知識の習得と実習を行う。	1前	36	1		○	○		○			
9	○		ビジネス実務 I	就職活動や社会人になるうえで必要になるマナー、一般常識の習得(就職対策含む)	1通	##	4	○			○	○			
10	○		ペン字	硬筆検定3級合格レベルの実習と手書き用履歴書作成を行う。	1後	15	1	△	○	○		○			
11	○		Illustrator 演習 応用	デザインに必要な技術やアプリケーション知識を習得する。(Illustrator検定合格を目指す)	1後	21	1	△	○	○		○			
12	○		Photoshop 演習応用	デザインに必要な技術やアプリケーション知識を習得する。(Photoshop検定合格を目指す)	1後	30	2	△	○	○		○			
13	○		色彩概論 II	デザインの基礎となる色彩について習得し、文部科学省後援色彩検定2級の取得を目指す。	1後	32	2	○				○			
14	○		カメラ実習	写真映像撮影知識と、写真撮影方法・写真編集方法の基礎知識を修得する。	1後	56	1	△	○	○		○			
15	○		ブランディング手法	ブランディングするための基礎を学び、問題解決能力を育てる。	1後	26	1	○	△	○		○		○	
16	○		エディトリアルデザイン実習	紙面制作を通じて、グループワークの難しさを学ぶと同時に、スケジュール管理の方法を学ぶ。	1後	30	1		○	○		○			

授業科目等の概要

(工業専門課程 CGデザイン学科) 令和4年度 1年生														
分類	授業科目名		授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
							講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
必修	選択必修	自由選択												
17	○		デザイン実習応用	デザイン実習基礎をベースに、多様なデザインに応用していく。	1後	30	1			○	○		○	
18	○		WebデザインI	ホームページの作成更新等、Webサイトに関する基礎知識を習得する。	1後	15	1	△		○	○		○	△
19	○		デッサンⅡ	鉛筆・ボールペンで様々な素材や形態のモチーフをデッサンする。	1後	30	1	△		○	○		○	
20	○		合同制作Ⅰ	1、2年生が合同で、グループワークを通じて制作物に取り組む。	1後	30	1			○	○		○	○
21	○		キャリア実習	連携企業の現場で実習することにより、企業で求められる知識・技術力を理解する。	1後	92	3			○	○		○	
合計					21科目	836時間(34単位)								

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	16週

授業科目等の概要

(工業専門課程 CGデザイン学科) 令和4年度 2年生															
分類	授業科目名			授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
								講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
必修	選択必修	自由選択													
1	○		動画実習Ⅰ	発注とスケジュールの組み立て方を学び、様々な印刷方法を学ぶ。	2前	34	1	△	○	○	○				
2	○		キャッチコピー演習	グラフィックデザインやWebデザインにおいて、ターゲットに訴求する文章のテクニックを学ぶ。	2前	30	2	○		○	○				
3	○		DTP概論	印刷用に活用される実践的なデザインデータを制作する知識を学習する。	2前	31	2	○		○	○				
4	○		ビジネスアプリケーション	企業で利用されているビジネスアプリケーションExcelの知識・技能を習得する。	2前	33	1	△	○	○	○				
5	○		イラストレーション	デザインする上でイラストレーションを利用したデザインやアートを作成する。二科展での入賞を目指す。	2前	31	1			○	○	○			
6	○		マーケティング	市場調査をすることで、デザインのコンセプトを定め、販売につなげていくための方法論を学ぶ。	2前	38	2	○		○	○				
7	○		DTP実習Ⅰ	印刷とDTPの基本を学び、文字組やレイアウトの技術と知識を習得する。	2前	56	1	△	○	○	○				
8	○		WebデザインⅡ	基礎知識をもとに、Webサイトの企画・制作を立案し、作品を制作する。	2前	33	2			○	○	○	△		
9	○		ディレクション	現状あるデザインをより良くする技術を身に付けます。クライアントの要望を聞き出し、実現するための制作。	2前	34	1			○	○	○			
10	○		デザイン表現	業界の抱える問題に目を向け、テーマを掲げそれぞれが調査、研究を行い作品にしていく。	2前	67	2	△	○	○	○				
11	○		ビジネス実務Ⅱ	就職後に即戦力として活躍できる人材として求められるビジネスマナーや業務遂行方法等について習得する。	2通	##	4	○		○	○				
12	○		動画実習Ⅱ	分析する力と良質な情報をまとめる力を養い、主題を明確に相手に伝える力をつける。	2後	30	1	△	○	○	○				
13	○		DTP実習Ⅱ	発注とスケジュールの組み立て方を学び、様々な印刷方法を学ぶ。	2後	30	1	△	○	○	○				
14	○		企画プレゼンテーション	分析する力と良質な情報をまとめる力を養い、主題を明確に相手に伝える力をつける。	2後	45	3	△	○	○	○				
15	○		卒業研究Ⅰ	グラフィックデザイン・Webデザイン・カメラ、動画・デッサン等、2年間で学んできたことを応用し、実務レベルの作品制作を行う。	2後	84	2	△	○	○	○			○	

授業科目等の概要

(工業専門課程 CGデザイン学科) 令和4年度 2年生															
分類	授業科目名			授業科目概要	配当 年次・ 学期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企 業 等 と の 連 携
								必 修	選 択 必 修	自 由 選 択	講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	
16	○			卒業研究Ⅱ	卒業研究Ⅰを基礎にして、2年間で学んできたことを応用して実務レベルの作品制作を行う。完成度を高めるのと同時に、プレゼンテーションまで落とし込む。	2 後	86	2	△	○	○	○	○	○	
17	○			合同制作Ⅱ	1、2年生が合同で、グループワークを通じて制作物に取り組む。	2 後	30	1		○	○	○	○	○	
18	○			親学	親としてすべきことを学び、さらに人としての成長を目指し、人間力を高めるライフデザインについて学ぶ。	2 後	15	1		○	○	○	○	○	
19	○			デザイン実務演習	様々なコンペや企業連携を通じて、クライアントの意向に沿ったモノづくりを目指す。	2 後	30	1		○	○	○	○	○	
20		○		医療事務	医療機関の役割を理解し、簡単な保険請求を学ぶ	2 後	15	1	△	○	○	○	○	○	
21		○		ビジネス実務法務	ビジネスに関連する法律の学習を通じて、社会の仕組みや業務におけるリスクを学ぶ	2 後	15	1	○		○	○	○	○	
22		○		デザイン入門	書類やスライドなど、どの業界に出ても必要となるデータ作成上で必要となるデザインについての基礎知識を身につけ、実践する	2 後	15	1	△	○	○	○	○	○	
23		○		HP動画	HPや動画を制作するための基礎的な知識やセンスを身につける。	2 後	15	1	△	○	○	○	○	○	
24		○		音楽	日本に伝わる四季折々の歌や世界に広がる歌を歌いながら楽器や身体、絵に描く等、表現力を高め感性を豊かにする。	2 後	15	1	△	○	○	○	○	○	
25		○		RPA実習	作業自動化ツールであるRPA(Robot Process Automation)の構築を題材に、プログラムの思考力を養う	2 後	15	1	△	○	○	○	○	○	
26		○		Excel・データ分析	Excelを使ったデータの活用、集計、分析方法の基礎知識について学ぶ	2 後	15	1	△	○	○	○	○	○	
27		○		一般知能	数的推理・判断推理・資料解釈を論理的な思考から、解答する力を答練を通じて身につける	2 後	15	1	○		○	○	○	○	
28		○		健康管理	人体の仕組みと代表的な病気の予防について理解し、健康管理の基礎を学ぶ。	2 後	15	1	○		○	○	○	○	
29		○		ロジカルシンキング	グループワークやディスカッションを通じて、論理的思考に用いられるフレームワーク(考え方)を学ぶ。	2 後	15	1	△	○	○	○	○	○	
30		○		ビジネス英語	ビジネスの場で簡単な英語が話せる力や、メール文章を書く能力を身につける。	2 後	15	1	○	△	○	○	○	○	

授業科目等の概要

(工業専門課程 CGデザイン学科) 令和4年度 2年生															
分類	授業科目名			授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
								講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
必修	選択必修	自由選択													
31	○		ペン字上級	1年生で学んだ美しい文字を書くことの大切さをより深く理解する。ひらがな、カタカナの成り立ち、漢字基本点画、部首、筆順の解説により、バランスのとれた字形（行書体も含む）を学ぶ。また、筆ペンの使用も学ぶ。	2後	15	1	△	○		○			○	
32	○		応用文章技能	文章を書くための素材を集めるポイントや文章の構成などを講義するとともに、毎回、テーマに即した文章を書くこと（添削あり）を通じて、実践的な文章技能の習得を目指す。	2後	15	1		○		○		○		
33	○		フラワーアレンジメント	ブーケ、ブートニア、ヘッドフラワー、会場装花を製作する。	2後	15	1	△	○		○			○	
34	○		世界事情	グローバル化の時代、将来国内外問わず、外国人とともに仕事することを念頭に、テーマ別国際事情の講義とグループワークやディスカッションを通して、国際的視野を身につける。	2後	15	1		○		○		○		
合計					20科目	890時間(32単位)									
総科目					41科目	総時間 1726時間									
卒業要件及び履修方法							授業期間等								
①必修の全科目及び選択必修で選択した科目の成績がC評価以上 ②すべての授業の出席率90%以上 ③サーティファイ Photoshop検定スタンダード、 サーティファイ Illustrator検定スタンダード、 サーティファイ 色彩検定3級スタンダードのうち1つに合格 上記条件を全て満たした学生に対して卒業を認定する							1学年の学期区分			2期					
							1学期の授業期間			16					